

報告事項ケ

平成23年度鳥取県社会教育振興大会の結果について

平成23年度鳥取県社会教育振興大会の結果について、別紙のとおり報告します。

平成23年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成23年度鳥取県社会教育振興大会の結果について

家庭・地域教育課

1 概要

(1) 趣 旨

全県の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、地域づくりや人づくりに向けた生涯学習・社会教育活動の今後のあり方について考え、本県における社会教育の充実に資することを目的として開催。

(2) 日 時 平成23年11月15日(火) 10:00～16:20

(3) 会 場 県立生涯学習センター県民ふれあい会館

(4) 主 催 鳥取県社会教育協議会

(5) 共 催 鳥取県社会教育委員連絡協議会、鳥取県公民館連合会

(6) 後 援 鳥取県教育委員会

(7) 参加者 社会教育関係者等 205名(社会教育委員46名、公民館関係者79名、
地委職員55名、県教委職員15名、その他10名)

(8) 内 容

【講 演】「学校・家庭・地域・行政の協働を進めるシステムづくり～学校教育と社会教育の協働による人・まちづくり～」

講 師 鳥根県雲南市教育委員会教育長 土江 博昭 氏

【市町村実践発表】(別紙参照)

2 大会の成果

- ・講演では、学校・家庭・地域・行政が目標を共有し協働して実践することを大切にして「学社協働」に取り組むため、学校へコーディネーターを配置し、学校支援ボランティアやふるさと教育、不登校対応プログラム等を実施しておられる雲南市の取組について学び、各市町村の今後の取組の参考となった。
- ・実践発表では、初めての試みとして全ての市町村が特色ある取組について発表し、お互いに学びあうことができた。
- ・閉会行事で、大会宣言を採択し、各地域そして県全体の社会教育の機運を高め、一層の充実に図るための取組の方向性について共通認識を図ることができた。(大会宣言参照)



平成23年度鳥取県社会教育振興大会【実践発表プログラム】

	[第1会場]4階 大研修室 (家庭教育の充実)	[第2会場]4階 中研修室1 (地域の教育力の向上)	[第3会場]5階 講義室 (社会教育委員の役割) (公民館活動の充実)	[第4会場]1階 ホール (公民館活動の充実)
テーマ	家庭の教育力向上を図る社会教育のあり方	学校・家庭・地域住民の連携・協力のあり方	人づくり、地域づくりに活かす社会教育委員の活動のあり方 社会教育の核となる公民館活動のあり方	社会教育の核となる公民館活動のあり方
12:45 ～ 13:15	【鳥取市】家庭教育支援チームからの報告～今、子育て親育ちに必要とされるもの～ 【発表者】山形孝史(生涯学習課主任) 【発表概要】市内各小学校の就学時健診・入学説明会の機会を捉え元小学校長を講師として派遣し、講演活動を展開しています。その中で現在の親が感じていることや、必要な支援を考えていきます。	【江府町】信仰の道 奥大山古道の復活 【発表者】佐々木 満(文化財保護審議会長) 【発表概要】昭和37年以後、歩かれることが殆どなくなった大山参りの道を整備復活しました。小学生から高齢者まで、奥大山古道を歩く多くの人々に、自然を大切にするとともに、かかると信仰のために古道を歩いた人達の心を伝えたいと考えています。	【伯耆町】図書館行政の活性化に向けて～生涯学習の拠点づくりに向けた社会教育委員の活動～ 【発表者】小谷津津子(社会教育委員) 【発表概要】伯耆町では、社会教育委員が図書館協議会委員を兼ねており、教育委員長から「より活用しやすい図書館のあり方」について諮問を受けた。答申に至るまでの経過と今後の取組によって新たに岸本図書館が設置されたことについて発表します。	【湯梨浜町】田後地区公民館活動報告 【発表者】加藤繁雄(田後地区公民館主事) 【発表概要】新興住宅地を含む地域の公民館。「合同七つまつり」、「区民運動会」では小中学生も企画に参加するなど、子どもを主役にした事業に力を入れています。地域の大人が子どもにかかわる中で、新旧住民の交流も進むようがんばっています。
13:25 ～ 13:55	【若桜町】家庭教育の充実に向けて 【発表者】岡本 寛将(生涯学習係社会教育主事) 【発表概要】平成20年度に小・中学生の保護者を対象とした「家庭教育に関するアンケート」を実施しました。その結果を踏まえつつ行っている本町の家庭教育の取り組みについて発表します。	【境港市】地域で育む地域の子～学校支援ボランティアの取組～ 【発表者】松本幸永(人権教育推進指導員) 【発表概要】職場や家庭でバリバリ働いていた旧若者の皆さんへ！引退するのはまだ早い、と思いませんか？今お持ちの知識や技能を子どもたちのために役立てましょう。健康にいいし、周りからも感謝され、一石二鳥ですよ。	【日吉津村】地域の人材を活かす～社会教育関係委員の実態を踏まえて～ 【発表者】橋田和久(社会教育係長) 【発表概要】日吉津村の社会教育目玉事業である『こどもの日まつり』『カルチャー少年塾』を支えているのは、社会教育委員をはじめとする地域の方々です。事業の企画段階から当日の運営、指導までを担当、顔の見える『地域人材』です。	【北栄町】住民が運営する公民館 【発表者】永田洋子(NPO法人まちづくりネットワーク 理事長) 【発表概要】地域のおおさんが立ち上げたNPO法人、そのメンバーが北栄町中央公民館 大菜分館の運営に携わって3年目。成果はどのように現れているのでしょうか。これから展望と地域づくりへの思いを語ります。
14:05 ～ 14:35	【智頭町】すぐすぎざっ子 智頭町家庭教育7か条～子どもたちのために今私達ができること～ 【発表者】竹下のみみ、土居千鶴、綾木麻香(家庭教育支援チーム) 【発表概要】家庭教育がすべてのスタートということから、智頭町の実態・子育てで大切にしたいこととを、「家庭教育7か条」として作成しました。智頭町では、この7か条を柱として学校・家庭・地域と連携を図りながら、取り組みを行っています。	【大山町】男性団体連絡協議会、ではありませぬ 【発表者】後藤英紀(社会教育課課長補佐) 【発表概要】大山町女性団体連絡協議会は町内8つの女性団体が集い研鑽し合う会です。多忙な中山町の女性たちを動かすものは何か。自主的に活発な活動を紹介します。健康にいいし、周りからも感謝され、一石二鳥ですよ。	【米子市】ふるさと福生の「まちづくり」 【発表者】安田徳郎(福生東公民館長) 久慈浩司(福生東公民館主事) 【発表概要】平成16年度より、当地域ならではの独創性のある「新しい交流の場づくり」を立ち上げ、今や米子市の名物行事の一つになりつつある「大風揚げ大会」及び地域の歴史や文化を掘り起こし次世代を担う若者に郷土の文化を伝承する「歴史探訪活動」を紹介いたします。	【八頭町】船岡地区公民館「ふなおか夢音楽祭」の取組について 【発表者】清水清洋(船岡地区公民館館長) 【発表概要】「船岡地域の音楽愛好家やその知人等」に呼びかけて始まった音楽祭も今年で8回目を迎えます。これまでの経過に触れながら、参加者で組織した実行委員会が中心となって進めてきたこの事業を紹介いたします。
14:45 ～ 15:15	【琴浦町】10秒の愛で育てる子ども未来～0歳から15歳までの子どもの自尊感情を育む親子の絆づくり 【発表者】浜川明(社会教育主事) 【発表概要】琴浦町では、子育ての合言葉として「10秒の愛」を推進しています。子どもと真剣に向き合う時間を大切にしようという取組です。今回の発表では、推進の目的や内容、町内団体同士の連携などについて紹介します。	【日南町】地域教育力の基盤づくり 【発表者】西田耕一(社会教育室主任) 【発表概要】学習環境の整備の一環として今年度から鳥取大学連携事業「にちなみ町民大学」、「日南町の郷土資料をみんなで考えるワークショップ」を定期的に開催しています。学びの意欲を満たすだけでなく人とのつながりを通して、地域の教育力向上の基盤を形成することを目指しています。	【岩美町】大岩地区公民館「大岩いきいき地域づくり講座」 【発表者】瀧田 博之(生涯学習係長) 【発表概要】地域の活性化や家族・地域の教育力低下などの課題の解決に向けて『潮風まつり』『クリスマスコンサート』で地区民の交流を図ったり、地域の歴史や民話の掘り起しのほか『大岩知っ得講座』(歴史講座)を開催して、郷土愛や地域への関心を高めようとしています。	【倉吉市】次代を担うパワーの終結～PIAで培った経験を地域の力へ～ 【発表者】井田弘子(小鴨公民館主事) 【発表概要】PIAの役員を終えた人たちが、人の繋がりと経験を生かして次の地域リーダーとして活躍できるよう、次世代地域リーダー養成講座を開講した。若狭生相互の交流を図りながら、自主的に学習プログラムを企画し、地域活動への参加、課題の発見など地域リーダーとしての力を付けています。
15:25 ～ 15:55	【鳥取県】鳥取県の子育て親育ちプログラムについて 【発表者】福田範史(家庭教育担当副主幹) 【発表概要】子育てや家庭教育に関する悩みや不安を抱える親が増えている中で、学校、園や地域で、家庭教育に携わって互いに学びあう「とっとり子育て親育ちプログラム」を作成し、促進者としてのボランティア育成しています。保護者の仲間づくりや家庭教育についての振り返りに役立ちます。	【日野町】「あひざつ返事、はさまのそらえ」ただ今凡鷹徹底推進中！～日野町がめざす保小中一貫教育～ 【発表者】真山 守美(指導主事) 【発表概要】「日野の子は、町民みんなで育てる！」を合言葉に、町を挙げて子育ての充実に取り組んでいる。取組のキーワードは、「家庭での愛情のシャワー」。「地域社会での凡事徹底」「保小中一貫教育の基礎・基本の定着」です。日野町がめざす保小中一貫教育の秘策について報告します。	【三朝町】地域のごときは、地域で～三徳地域協議会の取組み～ 【発表者】清水 成真(三徳地域協議会副会長) 【発表概要】平成18年3月に、「三朝町地域の総合力を高め、自立を促進する条例」が制定され、「公民館」がなくなり、地域のことは地域で、行政に頼らざるいろいろな活動を、自分たちの手でなくてはならないとなった。今回は、三徳地域協議会の取組みを紹介いたします。	【南都町】生涯学習マンスリー「南都町再発見」 【発表者】新井宏則(人権・社会教育室長) 谷本麻衣子(公民館・社会教育室主任) 【発表概要】本年2月に多目的ホールが完成し、「生涯学習マンスリー」を開催しています。テーマは、「南都町再発見」。コンサートを開催したり、南都町の歴史に係るお話をしてももらったり・・・南都町への愛着を深めてもらえたらと考えています。

大 会 宣 言

私たち社会教育関係者は、鳥取県及び各市町村の社会教育のさらなる充実をめざし、本日、県立生涯学習センターに集い、平成23年度鳥取県社会教育振興大会を開催した。

本年度の大会は、県内全市町村がそれぞれの特色ある取組を発表し合い、意見を交わし交流する意義深い大会となった。社会教育の後退を危惧する声も聞こえる中、様々な課題や問題点を抱えつつも、県内各地域に社会教育が息づいていることを改めて確認し合う貴重な機会となった。

市町村合併や学校統合による地域社会の再編、地域社会における人間関係の希薄化など、地域の教育力の低下につながりかねない要因が山積する中、幼児から高齢者まで人がつながり合い、地域に愛着を持った子どもや大人を育てていくことは、正に社会教育が果たすべき今日的課題であり大きな使命である。

私たちは、社会教育にかける熱い思いと研修・交流で得た成果を活かし、各地域、そして県全体の社会教育の機運を高め、一層の充実を図るために次の事項を共通の認識とする。

- 一 将来の地域を支え、「鳥取県の宝」である子どもの健やかな育成に資するため、家庭教育に関する情報の発信や学びの機会を提供するとともに、親と地域のネットワークを構築し、家庭の教育力の向上を図る。
- 一 ふるさと鳥取に愛着を持つ子どもの育成に、学校・家庭・地域社会が連携・協働して取り組み、地域の教育力の一層の向上を図りながら、生涯にわたって社会全体で取り組む学びの息づくまちづくりを進める。
- 一 地域住民や社会教育関係団体の願いを、社会教育行政に届けることが社会教育委員の役割であることを再認識し、社会教育の現状や課題の把握に努め、社会教育の推進に向けた施策の提案等委員活動を充実する。
- 一 人づくり・地域づくりを担う拠点である公民館及び類似施設の充実こそが、住民を元気にし、地域活性化の原動力となることを再認識し、生涯学習のあるまちづくりを展望しつつ、地域課題に対応した取組や地域の指導者・リーダーの育成に努める。
- 一 人と人との絆を育む社会教育に携わる者として、各地域そして県全体での研修や情報交換の場に積極的に参加し、社会教育関係者がつながり合いネットワークを広げていくよう努める。

以上、ここに、宣言する。

平成23年11月15日

平成23年度鳥取県社会教育振興大会